

こんなことやっています！こんなところでごんばっています！

地域おこし協力隊通信

地域おこし協力隊活動報告会

長島町地域おこし協力隊4人による活動内容の報告会を2月6日、日本マンダリンセンター4階で開催しました。

隊員が長島町でどのようなことを感じ、活動を行ってきたかを報告し、今後の展望を発表しました。会場には、平日の夜間にも関わらず、約30人が来場し、隊員の活動報告に関心を寄せていました。この日、同報告会初となるYouTube（動画配信サービス）を使って生中継も実施しました。

隊員の発表後には傍聴者からの質疑に応えるなど、熱気にあふれた報告会となりました。

当日の様子は次のQRコードから閲覧できます。



「みかんちゃん」の愛称で 柑橘の魅力発信と学習支援を

マンダリンセンターを拠点に、「温州ミカン発祥の地」長島町の柑橘類の魅力発信・発信や子どもたちの学習支援を行っています。学習支援では、マンダリンBASEを活用し、小中高生の学習支援教室「みかん島」の運営や全国から学生の体験学習受け入れを行っています。今後も「みかん」を軸に、地域を超えた若者の交流、そして世代を超えた人のつながりが生まれる場を目指して、活動していきます。ぜひ「みかんちゃん」と気軽に声を掛けてください！

渋谷 日和 隊員



着任初年度を振り返って

主な活動として「ワーキングスペース」「長島大陸マンダリンBASE」の運営管理を通じて、地域住民に新たな仕事場の提供を行いました。

松本 弘 隊員



ワーケーション事業では太陽の里と連携し、地域振興や観光活性化を目的とした「LAC長島」の活動をしています。昨年の11月には、地域活性化事業として町内の柑橘生産者と連携し、温州ミカンの蒸留酒「赤屋根クラフトスピリッツマンダリン」の材料提供を行いました。現在、e・ラーニング型職業訓練校を通じて地域住民のスキル向上を支援する「ジョブトレ鹿児島校」の開講準備を進めています。

来年度はこれらの活動を継続し、地域の皆さんと一緒に一歩ずつ前進できるように活動していきます。

4年間の振り返りと 今後の展望

長島の鳥獣被害対策への関わりは、活動を考えて試行錯誤していく道のりでした。熟慮することもあれば、ふと誰かの思いつきで始まったこともありましたが、いずれも、いろいろなご縁があつてのことでした。これからも引き続き、ご縁を大事にしながら、長島での野生動物との共生のための挑戦をしていきたいと思えます。

鳥獣被害対策は一人ではやるのでなく、人と協力しあつて成り立つと感じているので、最近「長島での鳥獣被害対策相互援助コミュニティ」の準備をしています。今後ともよろしくお願ひします。

長谷川 一総 隊員



長島の一員として、 未来へつなげる事業を

協力隊として、空き家バンク登録リストの管理や空き家の調査、地元で家を貸したい人、借りたい人の間に立ち交渉のお手伝いなどを行っています。

大東 勝行 隊員



今後は、空き家のミッションと共に空き家を活用した複合型の仕事づくりを意識し、長島町に来た人たちが長島の海の良さを体感して頂けるような海のレジャー産業を起業します。

新事業を通じて長島町の未來資産につなげることのできる一員になりたいと考えます。そこから自分たちで取り込む関係人口の創出、移住者の増加を微力ながら推進していきます。今後ともよろしくお願ひします。